

さくら

- SAKURA -

令和5年8月1日

NO. 78



特集

市議会の新体制が決まる

廿日市西高等学校写真部の作品

令和5年6月6日(火) さくらびあで文化祭第一部を行いました。書道部による大書「輪～しあわせをみんなに～」は本校の生徒だけでなく、第1部、第2部を通して来ていただいた方々全員で、コロナ禍でできなかった文化祭を開催できる喜びを分かち合い楽しもうという思いが込められています。ステージは放送部、軽音楽部、ダンス部、吹奏楽部が日ごろの練習の成果を発表しました。

CONTENTS

議会人事	… 2	議員定数調査 特別委員会報告	… 13
主な議案	… 5	意見書・議決結果	… 14
一般質問	… 7	議員全員協議会・陳情	… 15
政務活動費	… 12	キラリ！ はつかいちの高校生	… 16

特集

臨時会

廿日市市議会の体制が決まる

4月13日に臨時会が開会され、正副議長や各常任委員会などの人事が決まりました。

正副議長選はともに選挙となり、投票の結果、議長に新田茂美議員、副議長に広畑裕一郎議員が選出されました。選挙の結果は次のとおりです。

議長選挙

新田 茂美 議員 25票
大畑 美紀 議員 1票

副議長選挙

広畑裕一郎 議員 13票
枇杷木正伸 議員 13票

(副議長選挙は得票数同数のため抽選となり、抽選の結果、広畑裕一郎議員が副議長に決定しました。)

また、本臨時会では、国の法改正に伴う市税条例の一部改正など3件の専決処分を承認しました。



新田 茂美 議長



広畑 裕一郎 副議長

正副議長あいさつ

私たちは、4月13日の臨時会におきまして、議長並びに副議長に就任いたしました。現在、自治体を取り巻く環境は大きく変動し、地方の行政経営は困難さを増してお

り、地方自治の中核を担う市議会の責務と職責の重さを痛感しております。

さて、私たちの生活に多大な影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症が5類へと移行し、市民の皆様もかつての日常生活を徐々に取り戻していくものと思います。

しかしながら、激甚化する自然災害、物価高騰の長期化などが懸念されており、引き続き、市民の生活を守るための取り組みを着実に進めていくことが重要であると考えます。

二元代表制の一翼を担う市議会の役割は、行政監視機能と政策立案機能であります。私たち議員は、市民の皆様の負託に応え、持続し発展する地域社会を目指し、その役割を果たすべく努めてまいります。

市議会の活動に対してより一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶いたします。

議長 新田 茂美
副議長 広畑裕一郎

予算特別委員会

委員長 山田 武豊
副委員長 高橋みさ子

(予算特別委員会は、議長を除く全議員で構成されるため、その他の委員については省略します。)

その他の議会選出

議員・委員

宮島ボートレース

企業団議会議員

大崎 勇一
佐々木雄三
徳原 光治
堀田 憲幸

(4月24日に組合議会臨時会が開かれ、組合議会副議長に佐々木議員が選出されました。)

広島県水道広域連合

企業団議会議員

山口 三成
山下竜太郎

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会を円滑に運営するために設置され、年4回開催される定例会の開催日の調整、本会議の進行の確認などを行います。



坂本 和博	中島 康二
吉屋 智晴	副委員長 高橋みさ子
山下竜太郎	委員長 岡本 敏博
大崎 勇一	井上佐智子
山口 三成	
徳原 光治	

総務常任委員会

行政一般、財政及び消防に属する事項のほか、他の常任委員会に属さない事項について審査するとともに、調査、研究を行います。



水野 善丈	林 忠正
山田 武豊	副委員長 坂本 和博
広畑裕一郎	委員長 中島 康二
	岡本 敏博

文教厚生常任委員会

教育、文化及び厚生に属する事項について審査するとともに、調査、研究を行います。



向井 恵美	枇杷木正伸
吉屋 智晴	副委員長 梅田 洋一
北野 久美	委員長 隅田 仁美
	徳原 光治

環境産業常任委員会

商工、経済、産業、観光、衛生及び公害に属する事項について審査するとともに、調査、研究を行います。



堀田 憲幸 副委員長 山崎 英治
佐々木雄三 委員長 井上佐智子
田中 憲次 大畑 美紀
高橋みさ子

建設常任委員会

土木、建築、建設事業一般及び建設計画に属する事項について審査するとともに、調査、研究を行います。



大崎 勇一
新田 茂美 副委員長 山下竜太郎
栗栖 俊泰 委員長 山口 三成
濱本 紀洋

広報広聴特別委員会

広報、広聴に属する事項について調査、研究を行います。



徳原 光治 濱本 紀洋
山田 武豊 副委員長 大畑 美紀
山崎 英治 委員長 向井 恵美
堀田 憲幸 枇杷木正伸
栗栖 俊泰
水野 善文

6月
定例会

廿日市市の こんなことが決まりました

会期19日間 6月8日～6月26日

今月号では
この中から
3つを

Pick up

議案の状況

令和5年度補正予算

一般会計・国民宿舎事業会計 …… 2件

条例

廿日市市税条例の一部を
改正する条例など …… 8件

人事案件

廿日市市農業委員会委員の任命 …… 1件

報告

専決処分事項など …… 5件

その他の事案

工事請負契約の締結について …… 1件

発議

廿日市市議会議員定数条例の
一部を改正する条例など …… 3件

閉会中の継続審査

所管事務調査 …… 1件

計21件

Pick up 1

森林環境税・軽自動車税等 市税条例の一部の改正

〈議案第50号〉税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部が改正されたことに伴い、市民税等に関する規定が
改定されました。主なものは次のとおりです。

●個人の市民税

・森林環境税を賦課及び徴収する。

(年額1千円徴収、令和6年1月1日より)

●固定資産税

・マンション建物の外壁修繕など、一定の大規模な工事が行われた
家屋の固定資産税減額割合を1/3と定める。

●軽自動車税

・特定小型原動機付自転車に係る種別割
の税率を2千円とする。

こんな質問が出ました

A Q 特定小型原動機付自転車に該当するのは電動キックボードのみか。
原動機の定格出力が0.6kw以下であり、車体の長さが1.9m以下、幅
60cm以下、最高速度20km/h以下でオートマ機構であること、最
高速度表示灯が備えられている等の要件を満たしていれば、特定
小型に該当し、電動キックボード以外にペダル付きの自転車も
ある。



電動キックボード

Pick up2

物価高騰対策

事業者へ直接支援

〈議案第56号〉令和5年度一般会計補正予算（第2号）

物価高騰により運営経費の負担が増している事業者の安定的な事業継続を支援します。財源は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金です。

●物価高騰対策支援事業

総額2億4362万8千円

支援内容

- ①地域公共交通事業者への支援
1943万6千円
電車（宮島線）、バス（路線のみ）タクシー、フェリー（宮島航路）
- ②社会福祉施設等への支援
1億7799万2千円
介護事業所、障害者支援施設、私立認可保育園、民間留守家庭児童会など
- ③中小企業・個人事業主への支援
4620万円
市から新型コロナウイルス感染症対策産業振興実行委員会へ補助し、同実行委員会が、生産性向上等応援補助金として事業者へ支援。

こんな質問が出ました

Q 地域公共交通への燃油費高騰支援金について、対象別の金額は。今後、燃料価格が変わってくると支援金の金額も変動するの？

A 路線バスが約42万円、フェリーが約620万円、タクシーが約200万円、電車が約1050万円の積算で、今後の燃料費の変動により金額も変わってくる。

Pick up3

マイナポイント申込手続

9月末までサポート延長

〈議案第56号〉令和5年度一般会計補正予算（第2号）

マイナンバーカード取得に関わる、国のマイナポイント付与申請期間が9月末まで延長されたことに伴い、市が行う手続支援のためのサポートデスクも延長されます。

（マイナポイントが付与されるマイナンバーカード申請期限は2月末で終了していますので、これからマイナンバーカードを申請する方へのマイナポイント付与はありません。）

●行政システム推進事業

・マイナポイント手続支援業務委託料

800万円

こんな質問が出ました

Q 9月末までサポートを延長することだが、どのくらいの方がまだポイントを受け取っていないのか。

A 国全体では約75%の付与率となっているため、約25%の方が受け取っていないと推測できることから、マイナンバーカードの申請者数から割り出すと、概ね2万2千人の方がまだ受け取られていないと思われる。

Q 他人のマイナポイントが間違って紐づけられるミスがあったが、再発防止の考えは。

A 事務手続きの再確認に加え、委託業者による研修などで再発を防ぐ。

議員のQ & A 一般質問

一般質問とは？

議員が、市政全般に関して執行者（市長等）にその執行の状況や将来の方向、また住民生活に密接に関わる事項等について質問すること、あるいは政策を提言することをいいます。皆さんの生活に関わる大切な質問です。あなたが関心をもった質問はありますか？

質問議員18名 質問34項目

※質問・答弁要旨は質問した議員が書いたものですが、その後、広報広聴特別委員会において校正を行っています。その他の質問は、顔写真下のQRコードから映像をご覧ください。

通告順に表記、◎印は掲載

氏 名	質問タイトル
林 忠正	◎教職の事務作業効率化について ・農福連携について ・東広島市でのヤングケアラーをシルバー人材センターが支援する取り組みについて
岡本 敏博	◎市長選2期目の挑戦について ・カーボンニュートラルについて ・内陸部土地利用可能地調査と中央水路の整備について
濱本 紀洋	◎市営住吉住宅の入居実態と募集の状況について
梅田 洋一	◎オープンデータに基づく地区別人口動態と予算配分方針について
井上佐智子	・男女共同参画社会づくりにおける本市の男女共同参画プランの進捗状況について ◎出席簿の「混合名簿」への転換について ・宮島での多様な子育て支援の充実について
栗栖 俊泰	・誰もが投票できる環境づくりのために ◎障がい者グループホームへの課題と支援について
堀田 憲幸	◎まちづくりの現状について
隅田 仁美	◎帯状疱疹ワクチン接種助成について ・パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度について

氏 名	質問タイトル
北野 久美	◎地域の文化財の継承について ・子育て支援施策について
向井 恵美	・街路樹等の安全点検について ◎歩道の安全対策について
大畑 美紀	◎自治体DX・マイナンバー制度は市民の利益に結びつくのか ・ジェンダー平等社会実現のために ・農業にアグロエコロジーの考え方を
山下竜太郎	◎廿日市市奨学金貸付条例について ◎本市のSNSアカウントによる広報について
坂本 和博	◎G7広島サミットの本市の対応と成果について
水野 善丈	◎市立中学校における部活動のあり方について
吉屋 智晴	◎佐伯高校の持続的発展にむけた施策について ・介護人材確保の施策について
枇杷木正伸	◎本市における子ども食堂の現状と今後の取り組みについて
中島 康二	・地域拠点による活性化について ◎コネクトパーキング宮島と新機能都市開発等の関連性について
高橋みさ子	◎みやじま国際パワートライアスロン大会の継続にむけて ・広島圏都市計画道路対蔵山林ヶ原線の整備について

教職の柔軟な働き方と 事務作業効率化を

Q 日本の教員は事務作業に費やす時間が長い。セキユリティ対策が前提であるが、文科省の有識者会議が提案しているシステムのクラウド化により、柔軟な働き方や事務作業の効率化で、児童生徒に向き合える時間を確保するべきであるかどうか。

A 本年3月に文科省から、次世代の校務DXの在り方について、クラウド環境を活用した業務の在り方の見直しや外部連携の促進、データ連携による新たな学習指導・学校経営の高度化の方向性が示された。教職員一人一人の実情に合わせた柔軟かつ安全な働き方を可能とするため、汎用クラウドの活用と場所を選ばず活用できる教職員端末の導入のために調査・研究する。



林 忠正 議員



どうする 市長選2期目の挑戦

Q 廿日市市の市長選挙は令和5年10月29日に執行される。これまで正式に出馬を表明している人はいないが、市長はこの選挙に立候補し、再びまちづくりに挑戦する決意か。

A 廿日市市は周囲から大きな注目を集め、8年連続で転入超過が継続しており、令和4年度の転入超過者数は、県内で第1位となっている。しかしこれから待ったなしで訪れる本格的な人口減少、少子化、超高齢社会の更なる進展は、誰も経験したことのない事態であり、私はこの事態を打破することに、果敢に挑戦したいと思っている。引き続き、陣頭で指揮をとり、次なる時代を切り開いていきたいと考えて、続投の決意をしたところである。



岡本 敬博 議員



市営住吉住宅 募集・入居状況について

Q 市営住吉住宅は入居が難しいとの声をいただいている。市民の誰もが、安心して住み続けられる街をつくるためにも公営住宅の役割は大きい。そこで次の点について問う。

A

- ① 空き部屋状況の公表
- ② 空き部屋を確保する目的
- ③ 選定方法に問題はないか。
- ④ 管理体制に不備はないか。

① 過去の応募状況等を考慮し、公表している。

② 火事等の災害時に急ぎよ居住が必要となる方に提供するためである。

③ 優先的選考に該当される方は当選確率を倍にしている。今後はより公正な選考方法を研究する。

④ 指定管理者と情報を共有し、適切に管理している。



濱本 紀洋 議員



人口増加に応じた 住環境整備を

Q オープンデータ[※]によれば、まち全体では人口が減少するなか、本市を約200に細分化した地区別データを見れば、国勢調査のあった平成27年から令和2年までの5年間で人口が増加した地区もある。そのうち、段階的な宅地化により人口が増加した地区の住環境整備方針はどうなっているか。

A 都市基盤が不十分なまま市街化が進んでいる地区については、市民協働を基本とした生活道路の整備など、地区の実情に応じた住環境の改善整備を進めることとしている。生活道路の整備においては、地権者等の地域の協力が不可欠なことから、地域の実情把握に努めるとともに、地区別の人口動態も注視し、改善に向けて取り組んでいく。



梅田 洋一 議員



出席簿の混合名簿への 転換について

Q 学校の自主性に任せることは大切だが、本市の男女共同参画プランの理念を活かす取り組みが必要だ。学校教育の場からジェンダー平等の醸成は重要である。日常的に男女別に区別する元となる「男女別名簿」と「混合名簿」について、小中学校の名簿の数を問う。

A 多様性の尊重が求められジェンダー平等や男女共同参画の実現に向けた機運が高まりを見せる中、学校教育においても社会の変化を敏感に捉え対応することは大切である。5月現在小学校は全て、また中学校は9割が「男女混合名簿」である。今年度より順次、男女混合名簿に切り替えるよう通知した。未実施の学校も来年度には切り替えが行われる見通しとなっている。



井上佐智子 議員



グループホーム整備 重度対応施設に支援を

Q 重度者対応のグループホームは、人件費高騰や専門人材確保等の課題もあり整備が進んでいない。強度行動障害や医療的ケアが必要な重度の方が入居やショートステイ等の利用ができるよう、整備費以外にも資格取得費などの人的支援も必要ではないか。

A 障がい者が重度・高齢化する中、受け入れ体制の整備は全国的な課題である。令和3年度に医療的ケア対応への加算などが創設されたが、次期報酬見直しの動きも注視したい。市の支援については、次期障がい者福祉計画等の策定にあたり、日中支援型運営事業者への聞き取りや、利用見込み、他市町の取り組みなどを調査し、整備費補助を含め、支援の必要性について研究したい。



栗栖 俊孝 議員



まちづくりの 現状について

Q 佐伯地域は、農林業の衰退や社会情勢により人口は約30%減少、特に新生児は27名と驚くべき数字となった。そこで以下のことを問う。

A ①農林政策の現状について
②人口動態の現状について
③拠点間の料金格差について
④国の政策の下、産業としての振興と多面的機能の発揮に努めてきたところである。
⑤過去5年間で、年平均で約153人減少、要因は主に少子高齢化による自然減である。
⑥広電バス津田線は、令和3年10月から運賃の上限を400円とし負担軽減を図っている。
Q バス運賃は全域150円にならないか。
A マイナンバーカードと連動してキャッシュレス決済を導入し割引を検討したい。



堀田 憲幸 議員



带状疱疹ワクチン 接種助成を

Q 激しい痛みなどを伴う带状疱疹は、水ぼうそうに罹ったことのある3割の人が経験するとされ、免疫力の下がる50歳以降に発症しやすく、後遺症として带状疱疹後神経痛で痛みが続くこともある。ワクチン接種が効果的だが、費用は全額負担で高額であるため、接種をためらう人が多い。50歳以上の人を対象にワクチン接種を半額程度助成しては。

A ワクチンは、発症や重症化を予防するとともに、後遺症の発症リスク低減を期待でき、有効な予防法と認識している。本市においては、国において、ワクチンの効果等を十分検討した上で、予防接種法に基づき「定期接種」として実施されることが望ましいと考えており、国の動向を注視する。



岡田 仁美 議員



地域の文化財の 継承について

Q 文化財保護法が改正され、市町村に「文化財保存活用地域計画」の策定が制度化された。その目的の一つは、継承者の減少や資金不足等により、適切な維持管理や保存修理が困難になっている地域の未指定文化財の保存・活用の推進である。

A 計画の認定後、地域の未指定の文化財の保存・活用はどのように変わるのか。

令和3年度、市内5地域で開催したワークショップで、地域に眠る未指定文化財1580件を抽出した。今後、計画に基づき調査を進め、結果を市民に周知するとともに、地域コミュニティでの会議等で情報を共有し議論を深めることで、次世代への継承に向けた機運の醸成に努めていく。



北野 久美 議員



歩道の安全対策を

Q 歩道の整備された道路も多々あるが、歩道が車道側に大きく傾斜している箇所が存在している。ベビーカーや急速な高齢化社会の進展によりシニアカーなども歩道を通行することが益々増加する。歩道を改良し安全対策を図る考えはないか。

A 既存の歩道は、マウントアツプ形式[※]の歩道が多数であり、交通状況や歩道の利用実態などを把握し、部分的な段差解消や勾配の修正などを実施している。今後も高齢化社会が加速する中、電動シニアカー等の通行に関する要望も高まってくることで予測されることから、利用実態や現地状況を把握し、歩行空間の安全性確保に努める。



向井 恵美 議員



マイナンバーカード 取得は任意のはず

Q マイナンバーカード利用で、個人情報漏洩や登録ミスなどトラブルが相次いでいる。

①マイナンバーカード取得はあくまでも任意であり、利用横展開等の市民カード化事業はすべきではないがどうか。

②マイナ保険証への一本化で、申請しないと保険証が交付されず、大量の無保険者が出る恐れがある。現在の保険証を廃止してはならないがどうか。

A ①市民が行政サービスの利便性を享受、選択できる多様な活用シーンを拡充していくことが、これからのデジタル社会実現に欠かせない。

②無保険状態を阻止するため、保険者が必要と認める場合は、本人申請によらず資格確認証を交付できる措置も予定されている。



大畑 美紀 議員



市奨学金貸付条例・ SNS広報について

Q 昨年6月の一般質問で、本市奨学金制度の利用者増への提案をし、検証していくとの答弁だったが、検証の結果は。制度周知に努め、活用しやすい制度への見直しを図る。

Q 千年先も、いつくしむ。プロジェクトムービーは、YouTube再生回数が622回など少ない。いいものを作っても見られないと意味がない。対策を検討しているか。

A このプロジェクトは「宮島自体を御神体として大切にし、慈しんできた宮島に住まう人の心を、世界中の人々と共有し、宮島を次世代に引き継いでいく」という思いで、ロゴ、ムービー、ポスター、特設ウェブサイトを制作した。市内事業者等に協力を呼びかけ、拡散していくよう考えている。



山下 竜太郎 議員



G7が残したものを どのように生かすのか

Q G7サミットは、首脳やパ-

トナーの宮島訪問など本市において大きな成果と課題を残した。その対応について問う。また「市HPにG7サミット情報コンテンツを設置しプロモーションビデオ等の魅力を発信」「ふるさと納税返礼品にG7サミットの土産・食材等を活用」「仏など海外との友好提携の強化と若者交換交流の推進」「ゼロカーボンパークの推進」等を提案する。

A 課題として「オーバーツーリズム」があり、分散型観光の推進と宮島口の駐車場及び渋滞対策を進め、持続可能な観光地づくりを進める。またG7により宮島のブランド価値が上がっている好機を逃さず、提案のあった事項にスピード感を持って前向きに取り組む。



坂本 和博 議員



市中学校の朝練習を 中止とした意図は

Q 令和4年9月に市中学校の朝練習を中止とした経緯を問う。

A 令和3年8月に市教委が実施した教職員アンケート結果では、「朝練習を実施すべきである」との回答者は約1割に留まり、朝練習が教職員の負担になっていた。持続可能な部活動の実現と学校の働き方改革を踏まえ原則中止とした。

AQ 生徒には意見を聞いたのか。生徒にはしていない。本年1月のアンケートで教員の肯定的評価が8割を超え、職務改善に効果はあったとみている。

A 部活動の地域移行の流れで、今後、朝練をどうするのか。まだ地域移行と朝練との関連は分からない。部活動に熱心な教員もいるので、今後も休日部活動に関わる体制は準備していきたい。



水野 善文 議員



佐伯高校の 持続的な発展を

Q ①今年度入学減少の要因は。

②個人競技など新たな部活動の希望があった際の支援は。

③連携型中高一貫教育校導入は困難か。

④地元の佐伯中学校からの入学者が少ない原因の調査は。

A ①昨年度の佐伯高校の志願者倍率が高かったこと、今年度からの入試制度変更による受験機会の減少、安全志向による私立高校の入学者増加などが要因と考える。

②必要時、佐伯総合スポーツ公園利用なども支援していく。

③該当する中学校から一定割合の入学者があり、将来も見込まれることが必要。佐伯中学校からの入学者は10〜30%程度で要件を満たさない。

④生徒や保護者などへのアンケートも検討していく。



吉屋 智晴 議員



子ども食堂の現状と 今後の取り組み

Q 本市においても、近年、子ども食堂を運営する団体が増えてきている。少子高齢化対策として、高齢者の健康寿命を延ばすために、子どもから高齢者までが一緒に食事をする場を設けることも必要ではなからうか。

活動の実態、運営の課題、行政の指導や支援について問う。

A 現在、市が把握している子ども食堂は5カ所であり、対象者や参加人数も様々である。聴き取りから、運営スタッフの確保に苦慮している状況があった。今年8月には、子ども食堂フェスタが本市で開催される予定であり、これを契機に、市内の子ども食堂運営団体が集まり、互いに意見交換などを行える場を設置していきたいと考えている。



枇杷木正伸 議員



コネクトパーキング宮島 市事業との関連は

Q 国土交通省は令和5年度から国道2号西広島バイパス佐方サーブスエリア近くに中継拠点「コネクトパーキング宮島」の建設整備に向けて検討することになった。その近郊では、市事業の「新機能都市開発」と「未来物流産業団地」の開発整備が進められている。それら各事業地との関連性等について問う。

A 「新機能都市開発」で県が整備する廿日市環状線と西広島バイパスはランプ形式で接続予定である。「未来物流産業団地」への影響はないが、国・県と調整を行う。
将来的には市の各事業地と「コネクトパーキング宮島」は廿日市環状線でアクセスされる予定である。



中島 康二 議員



みやじま国際パワー トライアスロンの継続を

Q 本大会は、今年度で打ち切ると発表された。合併した旧5市町村の一体感を高めようと始まったこの大会は、商工会議所を軸に、市や企業の協賛、多くの市民ボランティアの力で運営されてきた。このまま終わらせるのではなく、継続する方法を模索すべきだ。

A 当初の目的を達成したこと、警備員や協賛金の確保が困難なことなどで、商工会議所が一区切り付けると判断した。この大会は本市のスポーツ推進計画に掲げる「する・みる・ささえるスポーツ」を体現したもので、成果を貴重な財産として受け継ぎ、まちづくりはどう生かしていくか、トライアスロン競技を含め様々な角度から調査・研究したい。



高橋みさ子 議員



令和4年度廿日市市議会政務活動費収支報告総括表

(令和4年4月～令和5年3月)

(単位：円)

会 派		無会派の会	クラブ みらい	成蹊21	日本共産党 市 議 団	公明党	クラブ進風	新政クラブ	合 計
所 属 議 員 数		3	5	5	1	3	3→2	8	27
交付額 (R3.4.1)		1,080,000	1,800,000	1,800,000	360,000	1,080,000	1,080,000	2,880,000	10,080,000
会派異動に伴う調整額							-180,000		-180,000
政務活動費項目別集計	調査研究費	417,792	731,515	517,660	53,834	347,640	130,680	1,172,329	3,371,450
	研 修 費	83,782	0	0	59,000	70,350	177,562	146,810	537,504
	広 報 費	0	0	50,546	0	0	0	0	50,546
	広 聴 費	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会 議 費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	37,542	71,638	156,351	32,966	22,630	4,380	198,831	524,338
	資料購入費	2,530	28,454	79,450	126,891	0	25,374	142,861	405,560
	人 件 費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 務 所 費	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		541,646	831,607	804,007	272,691	440,620	337,996	1,660,831	4,889,398
会派議員負担分		0	0	0	0	0	0	0	0
会派議員負担分差引合計額		541,646	831,607	804,007	272,691	440,620	337,996	1,660,831	4,889,398
残余金返納額		538,354	968,393	995,993	87,309	639,380	562,004	1,219,169	5,010,602

※交付額を超える額は、各会派または議員個人の負担としている。

定数調査特別委員会最終報告

次期改選の定数は28↓27人

6月定例会初日、次の一般選挙（令和7年3月施行）から適用する議員定数について、議員発議により提出された条例改正案を賛成多数により議決しました。

●特別委員会での議論の流れ

議員定数については令和3年6月の特別委員会設置から、25回に及ぶ委員会・協議会で議論を重ね、「多様で充実した審議ができる議員定数」について、4月26日の最終委員会までに全会一致の結論を出していました。

この間、令和4年4月から7月にかけて行った「各種団体との意見交換会（18団体・延べ204人）」や、同年9月に行った「市民アンケート調査」を行うとともに、現状や将来推計人口の類似自治体との比較をベースに、産業構造や学校数などの関連データ（説明変数）で導き出す「重回帰分析」などの調査も行いました。

●割れた定数への意見

特別委員会では具体的な議員定数について議論を始めたのは、令和5年2月6日（第21回）からで、各党派などからの意見は現状の28人から25人（3減）と開き、全会一致を目指すためには妥協のない話し合いが必要でした。

●重回帰分析とアンケート結果

重回帰分析では、比較した4つのケースで26・79から27・43人という数値が導かれ、アンケートの「議会に求める改革」項目における結果では、「行政運営へのチェック機能（37・1%）」、「市民との意見交換や意向調査（32・4%）」、「議員定数（29・0%）」の順となりました。

●多様で充実した審議ができる議員定数とは

次期改選後の常任委員会数は、議会運営委員会において3常任委員

会で8人以上という結論が出ていました。市民アンケートで最も求められた「行政運営へのチェック機能」と「多様で充実した審議」が両立できる委員数について議論を深めた結果、適正な人数が9人であるとの結論に至り、現行定数を1減する27名とする全委員による最終合意がなされました。

比 重回帰分析（類似市との比較）

調査期間：R4.5.18～R4.8.24

調査回数：全5回

※専門家による支援を受けた回数

調査結果：本市の人口や将来推計人口の増減率を踏まえて4パターンの類似団体を設定し、それぞれ推計値を導出

ケース1	人口9.5～12.5万人	26.79人
ケース2	人口9.5～13万人 人口増減△40%未満	27.05人
ケース3	人口8～14万人 人口増減△18～+2%	27.43人
ケース4	本市人口を中心に±50団体 人口増減△25%未満	27.43人

現在の人口が同規模の類似自治体でも、行政面積や将来的な人口動態などが違うため、4つのケースに分けて産業構造、教育などの変数をより推計値を導き出しています。

討 論

反対討論

議員定数削減は、議会制民主主義のもとで、市民の声を削るということにはかならない。多様な人材、多様な市民意見と言いながら、定数削減では逆に多様な民意は反映しにくくなる。議員定数削減は議員の身を削るのではなく、市民の民意が削られる。調査結果からも、なぜ現状維持ではなく27人の1減なのかという必然性を感じることができず反対する。

賛成討論

2年間に及ぶ議員定数調査特別委員会による、市民アンケート調査、市民団体との意見交換や類似市などとの重回帰分析結果など、熱心な調査を重ねて導き出された成果である。委員長報告にあつたように、これからの議会には政策提言や議員提出議案が必要であり、それを実現するための27人との結論は、特別委員会での全会一致での合意形成であり賛成する。

特別委員会の調査報告書などの資料は、全て市議会HPからご覧になることが可能です。

議会の意思を国政へ

2つの意見書が発議され、いずれも全会一致で可決しました。

地方財政の充実・強化に関する意見書(要約)

令和6年度の政府予算と地方財政の検討にあたり、地方財政の確立を目指すよう、以下の事項の実現を求める。

1. 増大する地方公共団体の財政需要を把握し、十分な地方一般財源総額の確保を図ること。
2. 社会保障経費の拡充を図り、自治体の取り組みを支える財政措置を講じること。
3. 自律的な地方財政の確立に取り組み、地域間の財源偏在性の是正に向け、より抜本的な改善を行うこと。
4. 引き続きの新型コロナウイルス感染症対策として、状況の変化等で自治体で混乱が生じないよう財政措置と情報提供を行う。
5. 「まち・ひと・しごと創生事業費」は「地方創生推進費」として継続されるが、持続可能な恒久的な財源とすること。
6. 会計年度任用職員制度については、処遇改善や雇用確保が求められる。所要額の調査等を行い、財政需要を満たすこと。
7. デジタル化における自治体業務システムの標準化について、自治体での業務負荷が予想される。現場の意見を勘案し、必要な経費を国の責任において確保すること。
8. 森林環境譲与税については、林業需要を見込める自治体への譲与額を増大させるよう、現行基準を見直すこと。

少人数学級、教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の負担割合引き上げにかかる意見書(抜粋)

1. 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
3. 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと。
4. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること。

議決結果

会期 令和5年6月8日～6月26日

令和5年第2回定例会の議案等のうち賛成・反対が分かれたものについて、各議員の賛否の状況をお知らせします。その他の議案等は、全会一致で認定・可決・承認・同意となりました。

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果	賛成(人)	反対(人)	1 濱本 紀洋	2 坂本 和博	3 梅田 洋一	4 山崎 英治	5 山下 竜太郎	6 吉屋 智晴	7 水野 善丈	8 向井 恵美	9 岡田 仁美	10 欠 番	11 大崎 勇一	12 北野 久美	13 山口 三成	14 枇杷 木正伸	15 中島 康二	16 田中 憲次	17 広畑 裕一郎	18 林 忠正	19 山田 武豊	20 大畑 美紀	21 井上 佐智子	22 佐々 木雄三	23 徳原 光治	24 高橋 みさ子	25 栗栖 俊泰	26 堀田 憲幸	27 岡本 敏博	28 新田 茂美
6月8日	発議	3	廿日市市議会議員定数条例の一部を改正する条例	原案可決	25	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	

〔表示例〕 ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 議長…議長職

議員全員協議会

重要な取り組みの説明がありました

地域公共交通計画（素案）について

さくら76号で紹介した地域公共交通計画の策定に関して、市内の団地路線について広島電鉄から協議の申し入れがあり、広電バスが減便予定の阿品台団地線、四季が丘団地線を廿日市さくらバス（阿品台ルート、宮内ルート）と一体的に運行することなどについて、変更内容の説明がありました。

計画期間は令和5年10月～令和10年3月末です。

変更後の主な取り組み内容

- 廿日市さくらバス西循環の再編
 - ・日赤看護大学～広電阿品駅経由
 - ・廿日市市役所前駅を阿品台ルートへ再編。
- ・通勤、通学での利用を考慮し、一部の便は佐原田を経由し四季が丘一丁目まで運行。
- ・一部の便を廿日市市役所前駅～陽光台、宮園、四季が丘、阿品台を経由し阿品駅の直通便に。
- また、他ルートとの乗り継ぎを考慮したダイヤを設定。
- ・広電バス定期券を廿日市さくらバスでも利用可能に。

●廿日市さくらバス宮内ルートの再編

- ・居住地とシビックコア都市拠点や地域医療拠点を結ぶルートへ
- ・朝夕に宮園・四季が丘地区を広電バスと一体的に運行し、通勤通学での一定の利便性を確保。
- ・広電バスの定期券を、廿日市さくらバスでも利用可能に。

●その他

原・佐方・中山間部ルートでも若干の変更があります。

今後の予定

- ・令和5年6月中旬から地元説明とパブリックコメントを実施
- ・同7月 計画承認
- ・同9月 運輸局申請

主なQ&A

Q 説明会の対象が代表者だけでは、末端の利用者まで十分な意見調整ができないのでは。

A まずは地域代表の方に説明し、HP上や、バスの中などでも周知をしていきたい。

陳情・要望

これまで閲覧のみであった陳情等の取扱いが変わりました。

令和5年3月から新たに設けた規定により、市民から提出された陳情・要望のうち、議長及び議会運営委員会を取り扱うことが確認されたものについて、所管の委員会で調査・研究し、結果報告を行います。

環境産業常任委員会

森林整備を一層推進するために森林環境譲与税の譲与基準の見直しについて

委員会で審査した結果、状況把握を含め、継続審査となりました。

総務常任委員会

防衛予算の大幅増額を決定した政府方針の撤回と米軍による低空飛行および日米軍事共同訓練の実施中止を求める陳情書

委員会で審査した結果、調査に留めることとなりました。

用語説明

- ①オープンデータ（P8）…機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータのこと
- ②マウントアップ形式（P10）…歩道面を車道面より15cm以上高くし、歩車道を分離する形式
- ③コネクトパーキング宮島（P12）…トラックドライバーの働き方改革を進めるひとつとして、九州方面と関西方面からのドライバーが、車を乗り替えるなどの輸送の中継拠点をイメージしている
- ④ランプ形式（P12）…道路の本線車道から別の道路の本線車道へ連絡する道路

キラリ! はつかいちの高校生

その30



廿日市西高等学校

廿日市西高等学校写真部は、現在2年生5人、1年生6人で活動しています。3年生は6月上旬に行われた文化祭を区切りに引退しました。コロナ禍でのさまざまな制約がある中ではありますが、県の秋季大会や総文祭写真展、新人大会などへの出品を中心に、「日常の一部を写真に残す」ことを大切に活動しています。

また、廿日市市の障がい者フェスティバルや阿品台清掃ボランティアといった校外でのボランティア活動にも積極的に参加しています。

これからも学校内に限らず、多くの方に感動してもらえる活動を続けていこうと思います。

次回 9 月 定例会 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
	8/28	29	30	31	9/1	2
3	4	5	6	7	8 本会議 (議案説明)	9
10	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13 本会議 (一般質問)	14	15	16
17	18	19	20 委員会	21	22	23
24	25	26	27	28 本会議 (委員長報告等)	29	30

9:30 開会(変更の場合があります)
本会議はインターネット中継(手話通訳の同時配信)を行っております。

議会を見学しよう。

廿日市市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁北側2階の議会事務局窓口までお越し下さい。

ご意見をお聞かせください。



議会へのご意見はホームページの問い合わせ・意見送信フォームをご利用ください。

子ども議会のお知らせ

今年も「子ども議会」が開催されます。今回は、インターネットのライブ配信も予定されています。
日時：令和5年8月26日(土)
9:00~12:00

議会に参加しよう。

議会に対して陳情等を提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実状を訴え、適切な措置を要望することです。

編集
後記

広報広聴特別委員長
向井恵美

4月の臨時会において、2年に一度の議会人事が行われ、広報広聴特別委員会も新たな委員構成で出発いたしました。市民の皆様にも市政をより身近に感じていただきたい、この思いで委員会一同「議

会広報さくら」の編集作業に取り組んでおります。また、今年度も開催する「議会報告会」に向けても、市民の皆様の声をしっかりとお聴かせいただく為に準備を進めてまいります。

廿日市市議会ホームページ

廿日市市議会

検索

目の不自由な人のため

- 音声読み上げのための「市議会広報さくら」テキスト版をホームページに掲載しています。
- 「市議会広報さくら」のデジータ図書、点訳本があります。 ■ 問い合わせ 社会福祉協議会 TEL20-0294



市議会広報は、植物油インキを使用しています。